

# 船橋市議会アンケート 自由記述意見に対する回答【広報委員会協議】

## 市議会だよりについて

### No.1

議会だよりなど大人が見てもわかりにくいことが多いので、子供でもわかるくらい絵などを多く使い(マンガ風など)よみやすく、わかりやすいものにしてほしい。そうすれば大人から子供まで関心を持ちやすくなると思う。

#### 回答

私達、広報委員会も、幅広い世代にお読みいただける「市議会だより」を目指しております。読みやすく、わかりやすい構成を目指す上で、親しみがわくマンガ風なイラストなどを加えることを検討したいと考えます。ただし、用いる絵などはフリー素材のものになると考えられるため、思うように使えない場合も想定されます。

### No.2

市議会だよりの発行回数を年間6回に増加することを要望致します。

#### 回答

現在、年4回の定例会後に発行しています。臨時会の際には臨時号を発行したり、ページ数を増やしたりといった対応を取っています。定例会における議案審議の過程や議決結果、委員会活動、一般質問等を主な内容としています。まずは現在の市議会だよりの内容の拡充に努めています。大変嬉しい要望ですが、発行回数増加については、予算の関係もあり、今後の検討課題とさせていただきます。

---

### No.3

市議会だよりが年4回とはいかにも少ない。市民に知らせる事がそんなに少ないのですか？

---

#### 回答

現在、年4回の定例会後に発行しています。臨時会の際には臨時号を発行したり、ページ数を増やしたりといった対応を取っています。定例会における議案審議の過程や議決結果、委員会活動、一般質問等を主な内容としています。まずは現在の市議会だよりの内容の拡充に努めています。発行回数の増加のご要望のご意見かと思しますので、広報委員会でもご意見があったことを共有させていただきます。

---

### No.4

議案を誰が提案し誰が賛成し誰が反対したか知りたい。

---

#### 回答

ご関心を寄せていただきありがとうございます。議員ごとの賛否については令和2年からホームページで公開することを始めました。また令和3年発行の議会だよりでも公開を実施することを決定したところです。

## No.5

市民と議会の間には距離がある抜本的な原因は市民が生活に追われ市民共通の課題に目を向ける余裕がないことではないかと思います。私自身も最低限投票だけはするという感じです。そのため問15の各施策を実施されても結局余裕がなく見ないということになりそうです。代替案がなく恐縮ですが、そのように思えます。ただ、駅前配布されている政策レポートなど、電車の中でこそっと見れるので読んでいます。同じように市議会でも配布したらどうでしょうか？スマホに配信だとお楽に読めます。駅でスマホをタッチすると読めるとお良いかと思います。  
※問15・・・アンケート調査票の「問15 船橋市市議会に今後どのような取り組みが必要だと思いませんか。」という設問のことです。

### 回答

市政は住民福祉の増進にあり、皆さまの生活に影響するものです。心なばしの市政に多くの皆さまに関心をお寄せいただき、関与いただけるよう活動しております。そのことから広報委員会では、市民の皆さまに親しみをもってお読みいただける「市議会だより」の作成に努めておりますが、ご意見を踏まえ、一人でも多くの方に手にとっていただけるよう、市議会開会のお知らせや市議会だよりの駅頭配布等、効果的な配布方法について委員会で協議していきたいと考えます。

また、現在スマートフォン等でも、市議会だよりを閲覧できます。皆さまに身近に感じていただけるよう今後議会だよりの配布方法等を含めて、広報委員会で議論していきます。

## No.6

自分の生活に関係するような所は少し関心を持ったりしますが、それ以外は何をやっているのか良く分かりません。J:COMなどで船橋はこんな事にとりくんでいるとか、こんな事が決まったとか、こんなお得ですとか、そういった情報を身近な感じで発信していくと興味を持つ人も増えてくるのではないかと思います。

### 回答

ご意見をいただきありがとうございます。市民目線での編集を心がけ、議会だよりがより読み易くなるように改善に努めていきます。

## No.7

「市議会だより」では紙面の都合もあるのあろうが、質疑応答を読んで「こんな答えで簡単に納得してしまうのか？」と思うことが多々ある。議員はもっとしっかり対応してほしい。議員さんはフィールドワークをしっかり行った上で議会に臨むべきだと思う。

### 回答

貴重なご意見をありがとうございます。質疑応答については、紙面の都合により、決められた行数のなかでの内容となります。全ての記載は難しいため、細かいやりとりについては議事録を確認していただくこととなりますが、今後紙面の拡充についても検討課題とさせていただきます。

## SNS等について

### No.8

Twitterを拝見しましたが、あまり興味を引ける内容ではなかったです。議事録のリンクをツイートされてましたが、議事録が見つらく何が要点なのか分からないので、ツイートの文字数制限内で「本日は～の決定が行われ、これにより暮らしがこうなります」くらいの粒度だともっと市及び市議会に興味を持てる気がします。船橋市民として市議会及び関係者様の活動を応援しております。

#### 回答

市議会の応援をいただき誠にありがとうございます。  
船橋市議会公式Twitterでは、主に市議会における会議のご案内やホームページへの誘導を行っておりますが、ご指摘のような市及び市議会に興味を持っていただける内容になっていないと思います。船橋市議会によるTwitterも含めたSNS等での発信につきましては今後の広報委員会にて議論してまいります。

### No.9

「市民から遠い存在」という印象です。議員個別の活動は何となく分かりますが、「市議会として」についてSNS等を活用してもっと積極的に情報発信されてはいかがでしょうか…(多少型破りな方が関心も高まるかと)。

#### 回答

ご提言をいただき誠にありがとうございます。  
船橋市議会には50人の議員がおり、会派も7つあります。この多様性が議会の特性です。主義主張が異なる議員の集合体としての議会ですので、市議会全体としてまとまった発信をするためには全議員の同意が必要となります。この点の難しさがあることはご理解いただきたいのですが、議会としてまとまれる点の発信など、今後、広報委員会で議論してまいります。

## No.10

コロナの情報をツイッターで発信して下さる市議会議員さんがいらっしゃるの、今までより少し市議会の方が身近に感じる様になりました。今後も市民の気になっている事等、積極的に発信して頂くとうれしいです。色々大変だと思いますが頑張ってください。

### 回答

激励をいただき誠にありがとうございます。  
いただいたご意見を全議員に共有し、各議員が市民の皆さまの関心事等に対して、これまで以上に積極的に発信していけるよう努力してまいります。

## No.11

本来、市民に一番身近にあるべき市議会ですが、新聞や市議会だより以外では能動的に情報を取りにいかない限り詳細な内容が伝わってこないと感じています。SNS発信等についても議員さん個人レベルではなく、議会レベルでの発信、浸透を目指してみても如何でしょうか？

### 回答

貴重なご意見を誠にありがとうございます。  
船橋市議会には50人の議員で構成されており、主義主張の異なる7つの会派が存在します。議会全体レベルでの発信ということになると、全議員の合意が必要になるため困難が生じることはありますが、市民の皆さまへの浸透を目指して、船橋市議会のSNSでの発信のあり方については、今後の広報委員会で議論してまいります。

### No.12

私は今大学生ですが、これまで市議会というものについて考えたことはほとんどありません。私の実体感ですが、周りにも気にしている人は少ないです。よくわからないけど、小中学への支援や高齢者への援助をしているのだろうかと考えています。誰もが知っている高齢化の時代、私達の世代の声はどうせ届かないと、ただでさえ母体数の少ない世代が更に声をあげなくなる悪循環が生じている。大学の授業で他の市の現職の職員の方が教えて下さるものがあります。その市ではワークショップという形で市民の意見を聞きたい。そういったことやそれこそ大学や小中高校のときにどのようなことをしているのか、自分達の意見が生活にどのようにどのくらいの影響を及ぼすのかを知らせるようなことを実施した方が良く思う。ほんとうに必要な方々がいるのも承知の上で高齢者への医療費負担は増加させた方が良く思うし、コロナ禍で今は難しいと思うが、交流できる場所を増やした方が良く思う。これは私の意見だが、他の人も知れば意見は持っているはずである。よって、知らせる方法を何か増やした方が良く思う。広報活動をしなくては若者からしたら何かしてる人達にしか思えず関心などもてない。投票率34%とみて驚きがすごかったのだが、この数字をもっと伝えることで良識のある人なら選挙に行くのではないか。その34%にも世代間で差があったりしたら、低い世代が危機感をもつ、どれだけ少数意見で決められているか、焦らせるくらいが良いと思う。何よりも皆が目につき知れるようにしていただきたいと思いました。アンケート興味深かったです。ありがとうございました。

### 回答

私達市議会も市民の皆さま、取りわけ青年の皆さまにより身近に感じていただく取り組みをしていかねばならないと感じております。現在、小中学生に加え、高校生まで議会見学会を拡大し、昨年はオンラインによる議会見学会を開催する等、皆さまに市議会を身近に感じていただけるよう取り組んでいるところですが、まずは、18歳で選挙権が行使できるようになる高校3年生の皆さまと意見交換を行うことを考え、広報委員会による「出前講座」の調整に入ったところです。今後の出前講座の実施状況も踏まえて、意見交換会に繋がるワークショップや公開模擬議会などの可能性も考えてみたいと思います。今後とも市議会の広報や広聴についてご意見をお寄せいただければ幸いです。

## No.13

今回のアンケートで議会について分からない事が多くあることに気付いて良かったです。もっと知りたいと感じホームページを見ましたが、申し訳ないですが、いかにも役所仕事で形式だけで興味をもてそうもない内容で残念でした。もっと議会の役割等を分かりやすく発信していく必要があるかと思います。また、市議会だよりは内容がどうしても硬くなってしまふ為、部分的にでもコラム等作り、親しみやすさを入れてはどうかと思っています。また、議会を色々な人に知ってもらう為、商業施設で市にまつわる身近なテーマで公開模擬議会などを行うのはどうでしょうか。実施後は議員との意見交換を行える場があるとよいかと。議員個人での活動では抵抗がある人もいますが、議会が主体となることでややハードルは下がるのではないのでしょうか。

### 回答

船橋市議会ホームページの内容や見せ方などの改良を進めています。市議会だよりへのコラムの挿入をはじめ親しみやすい紙面構成についても引き続き取り組んでいきます。また、現在、小中学生に加え、高校生まで議会見学会を拡大し、昨年はオンラインによる議会見学会を開催する等、皆さまに市議会を身近に感じていただけるよう取り組んでいるところですが、まずは、18歳で選挙権が行使できるようになる高校3年生の皆さまと意見交換を行うことを考え、広報委員会による「出前講座」の調整に入ったところです。今後、これらの取り組みを踏まえて、意見交換会に繋がるワークショップや公開模擬議会などの可能性も考えてみたいと思います。

## No.14

関心はありますが、わざわざホームページは見ないので、議会だよりが投函されていると見えています。なかなか市民の関心を高めるのは難しいと思いますが、小中学生向けに学校で市議会とはどういうものか議員が教える授業などがあると身近に感じるようになるかもしれません(各会派から出て特定の会派に偏らないよう留意した上で)。また、選挙には行っていますが、どの議員がどんな活動をどれ位行っているのかがわからず、判断材料がないと感じます。議員の質疑回数、内容などHPIに公開されていればと思います。

### 回答

コロナ禍によって社会のデジタル化がすすんでおりますが、一方で、手に取って感じていただく広報紙の充実や、議員との触れあいによる理解の広がりなど共感をより広く感じていただけるアナログな活動も大事と考えます。小中高校生議会見学会・意見交換会を毎年実施していますが、さらなる周知と内容の充実を図っていきます。議員の活動については、有権者の判断に資する市議会だよりの構成に努めてまいりたいと考えます。

## No.15

やはり子どもたちが政治や市議会に関心を持てる機会を増やしてほしいです。子ども議会、選ばれるような立派な子たちは別に参加するような子たちは投票率の30%に絶対入ってくると思います。そうではない子たちの意見を聞けるような、その子たちが参画できるようなシステムがほしいです。立派な子たちは立派だなあとしか見てないので…。そうはいつでも、昭和の時代に教育を受けた私には今年高校1年になる息子が、私のおかげよりは社会に関心があってよかったと思っています。教育の実践的クオリティは向上していると思います。格差はありますが…。平日勤めている私にはとてもHPをみたりする余裕はないです。

### 回答

なかなか仕事をしながら子育てをする中ではHPをご覧になる余裕はないとのご意見に考えさせられます。広報委員会では、市議会だよりの充実に努めるとともに、小中高校生議会見学会を行ってまいりましたが、議員が学校に出向く「出前講座」の調整をしており、参加者以外の多くの児童生徒の皆さまにも市議会をより身近に感じていただけるよう取り組んでいきます。

## No.16

市議会議員を通じた市議会というイメージなので、市民も議員も今以上に市政や身近の諸問題について話し合う機会を持つことが肝要と思われる。市議会(建屋だけでなく討議も)見学ツアーとかいった企画ないイベントをもっと積極的にやった方が良い。

### 回答

貴重なご意見ありがとうございます。小中高校生議会見学会については大変好評をいただいております、コロナ禍で現在は制限がありますが、通常は議会や委員会等の傍聴や見学を行い開かれた市議会を目指しています。イベントとしての一般向けの見学会など、皆さまが参加しやすい方法があるのか委員会で議論していきます。

---

## No.17

議員でない若い世代が自由に討論できる場(場所を設定し、若い人達にこういう場所がありますよと都度テーマを決めて議長も決めて呼びかけて)を設けて下さい。

---

### 回答

未来の船橋のためのご提案をありがとうございます。小中学生議会見学会における議員とのグループ懇談会は、参加者に好評をいただいております。その充実についてたくさんのご要望をいただいております。そのご期待にお応えするとともに、若者や市民の皆さまも参加できる議員との交流や開かれた意見交換会について協議していきたいと考えます。

---

## No.18

どんなことをしているか？です。何の役に立っているのかも？です。もっと一般の人の意見を言える場(投稿も)増やした方がよいと思います。又、見学しやすく、見学するのを増やすとかした方がよいと思います。

---

### 回答

市議会が、どのようなことをしているのか。どのように役に立っているのか。このご意見に市議会として活動を広報する重要性を感じます。市議会として市民の皆さまの声を聴く場や市民の皆さまが意見を述べる場をつくっていくこと。いわゆる「市議会としての広聴」活動について、今後委員会で議論していきます。

---

## No.19

学生ですが、もっと若者が参加できるような機会がほしいです。

---

### 回答

若者の参加という視点は大変重要だと感じています。様々な手法も検討しながら、より身近な市議会になるよう今後も活動していきます。

---

## No.20

今現在大学の講義で「都知事選の投票率を上げるには」というテーマの元、学生同士で議論をしています。そのため、船橋市議会議員選挙の投票率を上げるためのこのアンケートに答えようと思った次第です。上記にも書きました通り、学校教育において選挙について考える時間があればあるほど選挙に前向きな考えになります。私の意見として、船橋市立の小中学校の生徒さんを船橋議会の見学に連れて行ってはどうでしょうか。よく国会議事堂の見学については耳にします。実際に私も小学生の時に学校の企画で見学しに行きました。船橋市議会の見学、船橋市議会で決まったことが子供達(の将来)にどう影響するのかなどについて学校で勉強する機会があれば投票率は上がるのではないのでしょうか。

---

### 回答

具体的なお提案をいただきありがとうございます。ご参考にさせていただきます。様々な手法も検討しながら、より身近な市議会になるよう今後も活動していきます。

## その他について

### No.21

議会の要所をまとめた映像を配信し情報公開をする事。インターネットを使って市民の要望、検討して欲しい課題についての吸い上げを行ってほしい。生活の中で意外とここおかしいんじゃないかといった事を街中で見かける。例えば、交差点の信号の位置がおかしいとか、車線の数を増やしてほしいとか(歩道が異様に広すぎるとか)、交通に関わる事や自転車の危険運転など多々あるので、気軽に投稿出来る場があれば市民が政治に参加している感がある。

#### 回答

具対的な例を挙げてくださありがとうございます。何が大事で何が必要かを考えると、人それぞれであること、また議会は全てが大事であるという認識ですが、議会だよりの議案質疑や一般質問もいわばダイジェスト版ですので、一定の検討の余地はあると考えます。課題やご意見の吸い上げについてウェブ上の意見箱設置のようなご意見かと思えます。現状、市政等についての要望や苦情等を議会に書面で提出できる陳情制度もございます。ちばレポのように市役所に直接投稿するシステムを導入しているところもありますので、ご意見として共有していきます。  
※「ちばレポ」とは、千葉市が実施している取り組みで、市内で起きている様々な課題を、ICT(情報通信技術)を使って、市民がレポートすることで、市民と市役所、市民と市民の間で、それらの課題を共有し、合理的、効率的に解決することを目指す仕組みです。

### No.22

このアンケートは「議員」の意見からはじまったものなののでしょうか？結果について誰かリーダーシップをとってレビューを行い活かしてほしいです。何も活かそうにないのならそれはそれで次に活かしてほしいです(もちろん報告してほしいです)。今回アンケートを実施したことで少し市議会について知ることが必要だなと考えさせられました。船橋市が日本の中で「開かれた市議会」のモデルケースになることを願っています。がんばってください。

#### 回答

応援ありがとうございます。ひとりの広報委員の提案から協議を経て、市議会広報委員会の総意をもって実施となりました。アンケートの結果については既に市議会ホームページに掲載、議会だよりで概要を掲載しました。また、いただいたご意見については、分類を行い、各常任委員会においてどのように取り組むことができるかを協議しました。私たち広報委員会では、一つ一つのご意見から皆さまが感じられている実態に向き合い、回答していくことが信頼に応えることになるとの思いで、検討しています。今後とも開かれた船橋市議会を目指して活動を続けてまいります。

---

## No.23

意見を持っている人が意見を言える場所、雰囲気があるといいと思います。住民一人一人が必ず何かの疑問や不安を持っていると思いますが、それを声にする場所がありません。

---

### 回答

ご意見ありがとうございます。どなたでも市政に対しての意見や要望を「請願」「陳情」として市議会に出すことができますが、市議会に対し皆さまが意見を言える「場」を設けることは、市民の皆さまの安心につながると考えます。広報委員会において広聴のあり方、議会による政策形成について、さらに調査、研究してまいります。

---

## No.24

市や町の問題点、困りごと、市民の声としてもっと吸い上げられる仕組みづくりを考えて実施してほしい。平日昼間は都内に出勤している人が多いと思うので、インターネット、スマートホンなどを媒体とした地域の問題意識の共有を行い、市民全員が議会に参加できるような方法を考えて下さい。大きな問題も小さな問題も平等に掲載し、誰でも相談でき、その相談を見られ、このように定期的に郵送によるアンケートも実施し、みんなが参加できる議会が開催できる事を希望します。

---

### 回答

ご意見ありがとうございます。市民全員が議会に参加できるようになることは理想だと思います。しかし全員参加は難しいのも現実です。まずは出前講座を実施し感触をつかむ中で、着手する取り組みや順序について広報委員会で議論し検討してまいります。

---

## No.25

一個人の意見をどのように伝えてよいのかわからないので、ホームページ等でそのような項目を作っただけだと小さな意見や要望も伝えやすくなると思います。

---

### 回答

市議会では請願、陳情を受け付けておりますが、ハードルが高いとのご意見かと思えます。市民の皆さまから幅広いご意見を伺うためにウェブ上に意見箱の設置やSNSによる集約等が考えられます。また多くの市民の皆さまとの意識、課題の共有のための広聴会の開催や定期的なアンケート実施も考えることができます。まずは出前講座を実施し感触をつかむ中で、着手する取り組みや順序について広報委員会で議論し検討してまいります。

---

## No.26

行政の中では最も身近な存在であるにも関わらず、議員個人の考え、意見を聞く機会が少ないと思います。タウンミーティングのような場を多くして議員の考えを発表することが必要だと思います。

---

### 回答

ご意見ありがとうございます。市議会に対し市民の皆さまが意見を言える「場」を設けることは安心につながると考えます。また、「身近に感じていただくこと」は、市議会でも最も大切なことと考えます。議員個人の考えなどは、議員が各地で個別に集会を開いておりますが、議会全体としてタウンミーティングや意見交換会などの開催はできていない状態です。開催の是非も含めて、広報委員会にて検討していきます。

---

## No.27

市民の声を直接市議会にとどける方法を教えてほしい。

---

### 回答

本会議や委員会で審議してほしいという内容であれば請願や陳情として市議会に提出することができます。その方法については船橋市議会ホームページに掲載されています。もっと気軽に市民の声を議会に届ける方法につきましては広報委員会で検討してまいります。

---

## No.28

ホームページをもっと見るようにするので充実させてほしい。

---

### 回答

ご意見をお寄せいただきありがとうございます。市民の皆さまへ、ホームページを通じてどのようなこととお知らせしていくべきか、もっと見ていただけるようにするにはどのようにすればいいかなど、広報委員会でホームページのあり方やその改善について議論を続けてまいります。

---

## No.29

船橋市議会アンケートを時々実施した方がよいと思います。年に3回くらいやって、アンケート用紙に要望書の記入欄を設けて市議会事務局に返信出来る様にすれば、より多くの住民との交流となると思います。

---

### 回答

ご意見ありがとうございます。市議会アンケートをどのくらいの頻度で実施できるかについては、効果の検証や費用の点など、今後の議論が必要ですが、今後も定期的にも実施してまいりたいと考えています。

---

### No.30

議会に提案したい事項を出したい時にすぐ出来る様に、市役所、出張所等に提案箱を設置してほしい。

---

#### 回答

ご意見ありがとうございます。市政に対して市役所や出張所のような身近な公共施設や場所から、簡便な手法によるご意見をいただくことについて、市民提案箱などの方法が実施されている自治体もありますので、広報委員会でどのような手法ができるか、提案箱の設置も含めて協議します。

---

### No.31

市民との意見交換会があれば良い(堅苦しくなく和やかな雰囲気で)。

---

#### 回答

ご提案ありがとうございます。堅苦しくなく、和やかな雰囲気での意見交換を実施するには双方の努力が必要だと思っておりますが、そのような場が増えることは、とても良いことだと考えます。市民の皆さまとの意見交換会や議会報告会の実施の可能性について検討してまいります。

## No.32

船橋市議会は本当にしっかり取り組んでいる事がわかります。「船橋市議会ガイドブック」「ふなばし議会だより」を配布していただいていますので、市議会の情報は市民全体に配慮して、音声版、点字版等も設け公開されていますので、関心を市民側が向けさえすれば良いと思います。各自治会の代表が自治会で検討したものを議員と討議をする会を持つ様にし、民意の反映が出来たらと思います。これからは若い世代の方々の活躍を望みます。アンケート問11-4もお願いしたいです。  
※問11-4・・・アンケート調査票の「問11 投票率の向上に何が最も必要だと思いますか。」という設問における、「4.若い人が政治について学ぶ主権者教育を充実させる」という選択肢のことです。

### 回答

平素より船橋市議会にご関心を持っていただき誠にありがとうございます。励みになります。自治会を含めた市民の皆さまとの意見交換会や議会報告会の実施の可能性について検討してまいります。また、若い世代の活躍のため、議会による主権者教育への関与は、多くの若者の参画を促す重要な取り組みと捉えております。出前講座を経て若者のご意見を伺いながら、若年層の政治、社会参画に取り組んでまいります。

## No.33

何が課題で何が実行でき何が実行できなかったのか、もっとわかりやすく説明してもらえると興味がわきます。自分の住む町ですが、地域、社会の課題が他人事となっています。身近に感じられる様にできたらよいのですが、地域、社会の課題が他人事となっています。身近に感じられる様にできたらよいのですが、わざわざインターネットで市議の情報は見に行きません。紙媒体はなくさないで下さい。

### 回答

身近に感じられる市議会というのは大変大切なお指摘と思います。議会だより、ホームページをはじめとした議会の広報広聴において、どのようなやり方や改善の仕方があるのか、今後検討させていただきます。

## No.34

議会は議会だよりの中で市議会議員の個別活動を紹介し(全ての議員)日頃より地域とどのように関わって活動し住民との関係を維持しているのか等を掲載し、自分達の市議会議員を身近に感じる事が大切で、ごく一部の人の為にある市議にならない様にして欲しいです。市議会議員は当選すればいいだけでなく、市議会における存在感を指して、それぞれの地域の発展と生活環境向上の為に頑張っていて欲しいです。

### 回答

身近に感じられる市議会に向けてのご提言として受け止めさせていただきます。議員の個別の活動については一般質問や議事録を参考にさせていただけたらと思います。ただし、議会だよりにおいて特集記事を検討するなど、より身近に感じられる市議会に向けて工夫をしていきます。